



2012年7月18日

報道関係者各位

株式会社ツバルの森

株式会社ワンビシアーカイブズの社会貢献活動の一環として、 森づくり活動を継続的に支援

～機密書類の抹消処理サービス「RECOLO Ⅲ」導入1台につき1本の植林。 株式会社ワンビシアーカイブズ社の植林活動を、ツバルの森が継続支援～

環境コミュニケーション会社である株式会社ツバルの森（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：三嶋浩太、以下「ツバルの森」）は、株式会社ワンビシアーカイブズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：豊田康晴、資本金：40億円、以下「ワンビシ社」）の社会貢献活動の一環として、植林「ツバルの森」を提供致しましたのでお知らせします。

【RECOLO（※）の森 概要】

情報資産管理のアウトソーシングサービスを提供する、ワンビシ社は、社会貢献活動の一環として、森づくり活動に取り組んでいます。「RECOLOの森」は、機密書類の抹消処理サービスRecycle Ecology Locker「RECOLO」（レコロ）に由来しています。ワンビシ社は、2011年9月に運用を開始した新バージョン「RECOLO Ⅲ」（レコロ スリー）において、導入1台につき植林1本の権利をご提供するキャンペーンを行っており、このたび200本の植林が実現しました。

ツバルの森は、ワンビシ社の植林を2010年より支援しており、今年で計700本の植林を実施してきました。また、植林後は、ワンビシ社のお客様に対して、CSR活動に活用いただける「植林証明書」を発行しています。ツバルの森は、企業のCSR活動だけでなく、企業の事業活動における環境価値創造を総合的にサポートしていきます。

- 名称 RECOLOの森
- 植林実施日 2012年6月16日（土）
- 植林地 山梨県
- 樹種 欒（けやき）
- 植林本数 200本

- 植林の様子

※RECOLO（レコロ）はワンビシ社の登録商標です。



小雨の中、植林に取り組む



200本を無事植林し、皆さんで記念撮影

植林した苗木



RECOLOの森は植林した樺を100年かけて育みます

● 植林スキーム



植林活動、グリーン電力などの環境貢献活動とマーケティング活動の両立を求める企業が増えております。中でも植林活動は、一般消費者や従業員をはじめとするステークホルダーに対して、「その活動の分かりやすさ」「一般消費者と共に行う植樹作業など環境活動の実体験を共有」など、マーケティング活動と環境貢献活動の両立を実現できる活動として、その取り組みが広がってきております。今後、環境省及び林野庁主導のオフセット・クレジット(J-VÉR)制度における森林管理プロジェクトの拡大などの後押しもあり、植林活動に取り組む企業は今後さらに増えていくと考えられます。

ツバルの森では、環境貢献を通じて企業とステークホルダーとのよりよい関係づくりに貢献できるコミュニケーション活動の企画を積極的に提案していきたいと考えています。

株式会社ワンビシアーカイブズについて

株式会社ワンビシアーカイブズは、リスクマネジメントの一翼を担う企業として、「総合情報マネジメント事業」、「保険サービス事業」を両輪として事業を行って参りました。総合情報マネジメント事業では、堅固なセキュリティ体制のもと、重要な情報資産の発生段階から活用、保管、抹消までのライフサイクル全てをカバーした総合的サービスを提供しております。保険サービス事業では、総合保険代理店として、がん保険などの幅広い商品ラインナップからお客様一人ひとりのライフプランに合わせた生命保険・損害保険をご提案しております。

- 名 称：株式会社ワンビシアーカイブズ
- 代 表：代表取締役社長 豊田 康晴
- 所 在 地：東京都港区虎ノ門 4-1-28 虎ノ門タワーズ オフィス
- 株 主 資 本：40 億円
- U R L： <http://www.wanbishii.co.jp/>

株式会社ツバルの森について

ツバルの森は、低炭素社会の実現を目指す、環境コミュニケーション会社です。環境メッセージを伝えたい企業・団体に、二酸化炭素（CO2）などの温室効果ガスの削減に貢献できる環境貢献活動と、販売促進、PR 活動、IR 活動などを組み合わせた環境コミュニケーションを提供しております。

- 名 称：株式会社 ツバルの森
- 代 表：代表取締役社長 三嶋 浩太
- 所 在 地：東京都千代田区飯田橋 4-7-11
- 株 主 資 本：2,300 万円
- U R L： <http://www.tuvalu-forest.jp/>

【報道関係者からのお問合せ先】

株式会社ツバルの森 広報担当 木下（きのした） TEL. 03-6380-9939